

大阪狭山市教育委員会
学校教職員アンケート結果報告書

令和6年3月

目 次

1	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査方法	1
3	回収結果	1
4	調査結果の表示方法	1
2	調査結果	2
◆	あなたご自身のことについて	2
◆	教育や学習に関する取組みについて	4
◆	職場環境について	14
◆	自由記述	26
※	参考資料 アンケート調査票	29

1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、次期「大阪狭山市教育振興基本計画」の策定にあたって、日々、小・中学校教育の現場で児童・生徒に向き合う教職員から、大阪狭山市の義務教育に関する現状に対する評価や今後の取組についての考えや意見を聞いて、計画策定及び今後の本市教育施策の展開方向について検討する上での資料とすることを目的に実施したものです。

2 調査方法

調査期間	調査開始:令和6年3月5日(火) 回収期限:令和6年3月19日(火)
調査対象	対象者:大阪狭山市の小・中学校教職員 対象数:251人
調査内容	1 あなたご自身のことについて(3 設問) 2 教育や学習に関する取組について(5 設問) 3 職場環境について(6 設問) 合計:14 設問
調査方法	オンラインによって依頼、回収を実施

3 回収結果

回 収 数	207件(内訳:小学校 128件、中学校 79件)
回 収 率	82.5%

4 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合があります。
- ・ 単数回答の設問は（SA）、複数回答は（MA）、記入回答は（FA）と表記している。

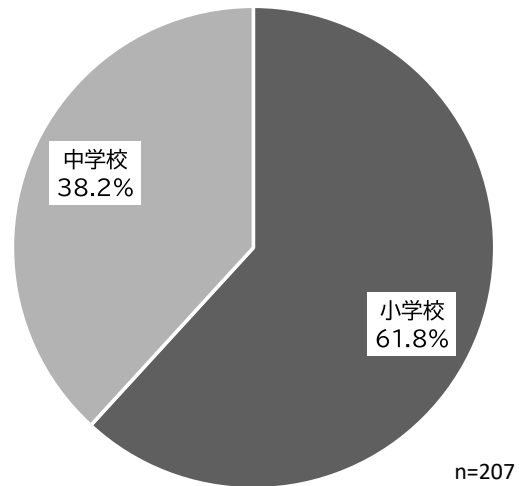
2 調査結果

◆ あなたご自身のことについて

問1 校種（在籍）はどちらですか。（SA）

○「小学校」の割合が61.8%、「中学校」の割合が38.2%となっています。

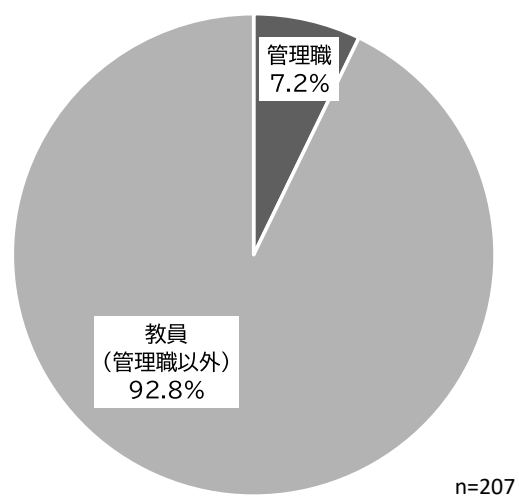
調査数(n=207)	回答数	割合
小学校	128	61.8%
中学校	79	38.2%



問2 職種を教えてください。（SA）

○「教員（管理職以外）」の割合が92.8%、「管理職」の割合が7.2%となっています。

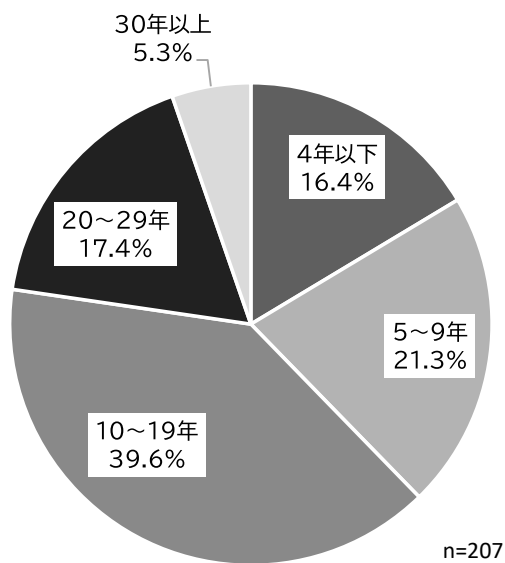
調査数(n=207)	回答数	割合
管理職	15	7.2%
教員(管理職以外)	192	92.8%



問3 経験年数を教えてください。(SA)

○「10～19 年」の割合が 39.6%、「5～9 年」の割合が 21.3%、「20～29 年」の割合が 17.4%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
4年以下	34	16.4%
5～9年	44	21.3%
10～19年	82	39.6%
20～29年	36	17.4%
30年以上	11	5.3%

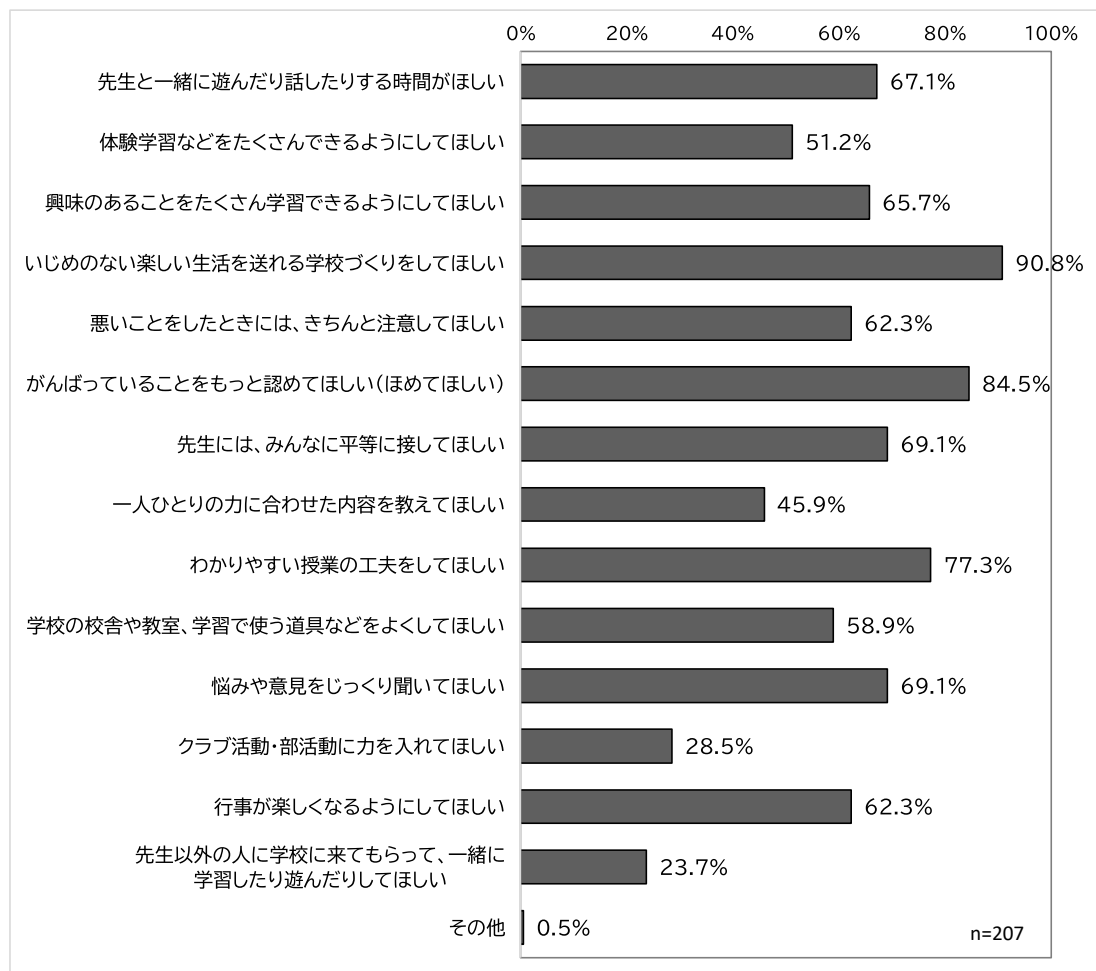


◆ 教育や学習に関する取組みについて

問4 子どもたちが学校や先生に望むことは何だと思いますか。(SA)

○「いじめのない楽しい生活を送れる学校づくりをしてほしい」の割合が 90.8%と最も高く、次いで「がんばっていることをもっと認めてほしい(ほめてほしい)」の割合が 84.5%、「わかりやすい授業の工夫をしてほしい」の割合が 77.3%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
先生と一緒に遊んだり話したりする時間がほしい	139	67.1%
体験学習などをたくさんできるようにしてほしい	106	51.2%
興味のあることをたくさん学習できるようにしてほしい	136	65.7%
いじめのない楽しい生活を送れる学校づくりをしてほしい	188	90.8%
悪いことをしたときには、きちんと注意してほしい	129	62.3%
がんばっていることをもっと認めてほしい(ほめてほしい)	175	84.5%
先生には、みんなに平等に接してほしい	143	69.1%
一人ひとりの力に合わせた内容を教えてほしい	95	45.9%
わかりやすい授業の工夫をしてほしい	160	77.3%
学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよくしてほしい	122	58.9%
悩みや意見をじっくり聞いてほしい	143	69.1%
クラブ活動・部活動に力を入れてほしい	59	28.5%
行事が楽しくなるようにしてほしい	129	62.3%
先生以外の人に学校に来てもらって、一緒に学習したり遊んだりしてほしい	49	23.7%
その他	1	0.5%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	話し合いしたい	先生と一緒に遊ぶ時間だほしい	体験学習などをたくしでけるようにしてほしい	興味のあることをたくさん学習できるようにしてほしい	いじめのない楽しい生活を送れる学校づくり	悪いことをしたときしてほしい	（ほめてほしい）	先生には、みんなに平等に接してほしい	一人ひとりの力に合わせたい内容を教えてほしい	わかりやすい授業の工夫をしてほしい	学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよく習得してほしい	聞いてほしい	悩みや意見をじっくり聞きたい	クラブ活動・部活動に力を入れてほしい	行事が楽しくなるようにしてほしい	先生以外の一人、一緒に学んでもらって、遊んだり一緒に来てほしい	その他
全 体	207	67.1%	51.2%	65.7%	90.8%	62.3%	84.5%	69.1%	45.9%	77.3%	58.9%	69.1%	28.5%	62.3%	23.7%	0.5%		
小学校	128	80.5%	59.4%	71.1%	92.2%	65.6%	87.5%	71.9%	48.4%	80.5%	63.3%	71.1%	26.6%	64.1%	28.9%	0.8%		
中学校	79	45.6%	38.0%	57.0%	88.6%	57.0%	79.7%	64.6%	41.8%	72.2%	51.9%	65.8%	31.6%	59.5%	15.2%			

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	話し合い したい	先生と一緒 に遊ぶ時間 がほしい	体験学習な どをたくさ んにできよ うにしてく ほしい	興味のある ことをたく さん学習で きるように してほしい	活を送れる 学校づくり をしたい	いじめのな い楽しい生 活を送れる 学校づくり をしたい	悪いことを したときに 、きちんと 注意してほ しい	先生には、 みんなに平 等に接して ほしい	一人ひとりの 力を合 わせてほしい 内容を教 えてほしい	わかりやす い授業の工 夫をしてほ しい	学校の校舎 や教室、学 習で使う道 具などをよ く習得して ほしい	悩みや意見 をじっくり 聞いてほし い	クラブ活動 ・部活動に 力を入れて ほしい	行事が楽し くなるよう にほしい	先生以外の 一人、一学 年に一緒に 来てほしい	その他
全 体	207	67.1%	51.2%	65.7%	90.8%	62.3%	84.5%	69.1%	45.9%	77.3%	58.9%	69.1%	28.5%	62.3%	23.7%	0.5%	
管理職	15	73.3%	73.3%	66.7%	100.0%	80.0%	93.3%	80.0%	60.0%	93.3%	73.3%	73.3%	46.7%	100.0%	26.7%	-	
教員(管理職以外)	192	66.7%	49.5%	65.6%	90.1%	60.9%	83.9%	68.2%	44.8%	76.0%	57.8%	68.8%	27.1%	59.4%	23.4%	0.5%	

【経験年数別】

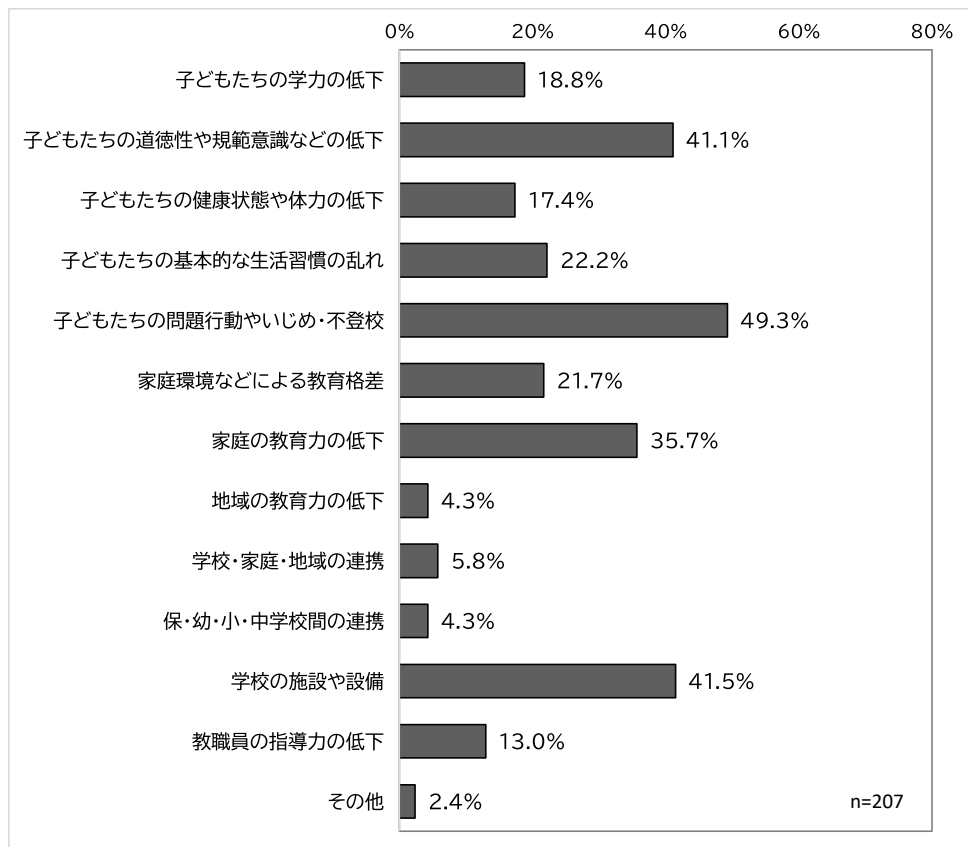
その他	先生以外のひとに学校に来てもらったり遊んだり一緒に学ぼうとしている	行事が楽しくなるようにしている	クラブ活動・部活動に力を入れてほしい	悩みや意見をじっくり聞いてほしい	学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよく使っていてほしい	わかりやすい授業の工夫をしてほしい	一人ひとりの力に合わせた内容を教えてほしい	先生には、みんなに平等に接してほしい	がんばっていることをもっと認めてほしい（ほめてほしい）	悪いことをしたときにほしい	いじめのない楽しい生活を送れる学校づくりをしてほしい	興味のあることをたくさん学習できるようにしてほしい	体験学習などをたくさんできるようにしてほしい	先生と一緒に遊んだりする時間がほしい	有効回答数（件）	区分
0.5%	23.7%	62.3%	28.5%	69.1%	58.9%	77.3%	45.9%	69.1%	84.5%	62.3%	90.8%	65.7%	51.2%	67.1%	207	全体
-	26.5%	70.6%	38.2%	64.7%	58.8%	79.4%	61.8%	41.2%	79.4%	50.0%	91.2%	64.7%	47.1%	79.4%	34	4年以下
2.3%	18.2%	59.1%	25.0%	63.6%	54.5%	77.3%	43.2%	68.2%	81.8%	63.6%	88.6%	65.9%	54.5%	61.4%	44	5～9年
-	23.2%	57.3%	29.3%	72.0%	56.1%	73.2%	48.8%	70.7%	84.1%	58.5%	90.2%	64.6%	48.8%	63.4%	82	10～19年
-	30.6%	75.0%	25.0%	77.8%	72.2%	88.9%	47.2%	77.8%	97.2%	86.1%	91.7%	72.2%	63.9%	75.0%	36	20～29年
	18.2%	45.5%	18.2%	54.5%	54.5%	63.6%	45.5%	54.5%	72.7%	45.5%	100.0%	54.5%	27.3%	54.5%	11	30年以上

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

問5 大阪狭山市の子どもたちや学校教育の現場で課題だと感じていることは何ですか。（主なものの3つ）（MA）

○「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が49.3%と最も高く、次いで「学校の施設や設備」の割合が41.5%、「子どもたちの道徳性や規範意識などの低下」が41.1%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
子どもたちの学力の低下	39	18.8%
子どもたちの道徳性や規範意識などの低下	85	41.1%
子どもたちの健康状態や体力の低下	36	17.4%
子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	46	22.2%
子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	102	49.3%
家庭環境などによる教育格差	45	21.7%
家庭の教育力の低下	74	35.7%
地域の教育力の低下	9	4.3%
学校・家庭・地域の連携	12	5.8%
保・幼・小・中学校間の連携	9	4.3%
学校の施設や設備	86	41.5%
教職員の指導力の低下	27	13.0%
その他	5	2.4%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	子どもの学力の低下	子どもたちの道徳性の低下	子どもたちの健康状態の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動の発生	家庭環境などによる教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携	保・幼・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	その他
全 体	207	18.8%	41.1%	17.4%	22.2%	49.3%	21.7%	35.7%	4.3%	5.8%	4.3%	41.5%	13.0%	2.4%
小学校	128	15.6%	39.8%	21.1%	25.8%	48.4%	21.9%	41.4%	5.5%	5.5%	2.3%	43.0%	9.4%	3.1%
中学校	79	24.1%	43.0%	11.4%	16.5%	50.6%	21.5%	26.6%	2.5%	6.3%	7.6%	39.2%	19.0%	1.3%

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	子どもの学力の低下	子どもたちの道徳性の低下	子どもたちの健康状態の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動の増加	家庭環境などによる教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携	保・幼・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	その他
全 体	207	18.8%	41.1%	17.4%	22.2%	49.3%	21.7%	35.7%	4.3%	5.8%	4.3%	41.5%	13.0%	2.4%
管理職	15	13.3%	20.0%	20.0%	6.7%	80.0%	26.7%	60.0%	6.7%	13.3%	6.7%	20.0%	20.0%	-
教員(管理職以外)	192	19.3%	42.7%	17.2%	23.4%	46.9%	21.4%	33.9%	4.2%	5.2%	4.2%	43.2%	12.5%	2.6%

【経験年数別】

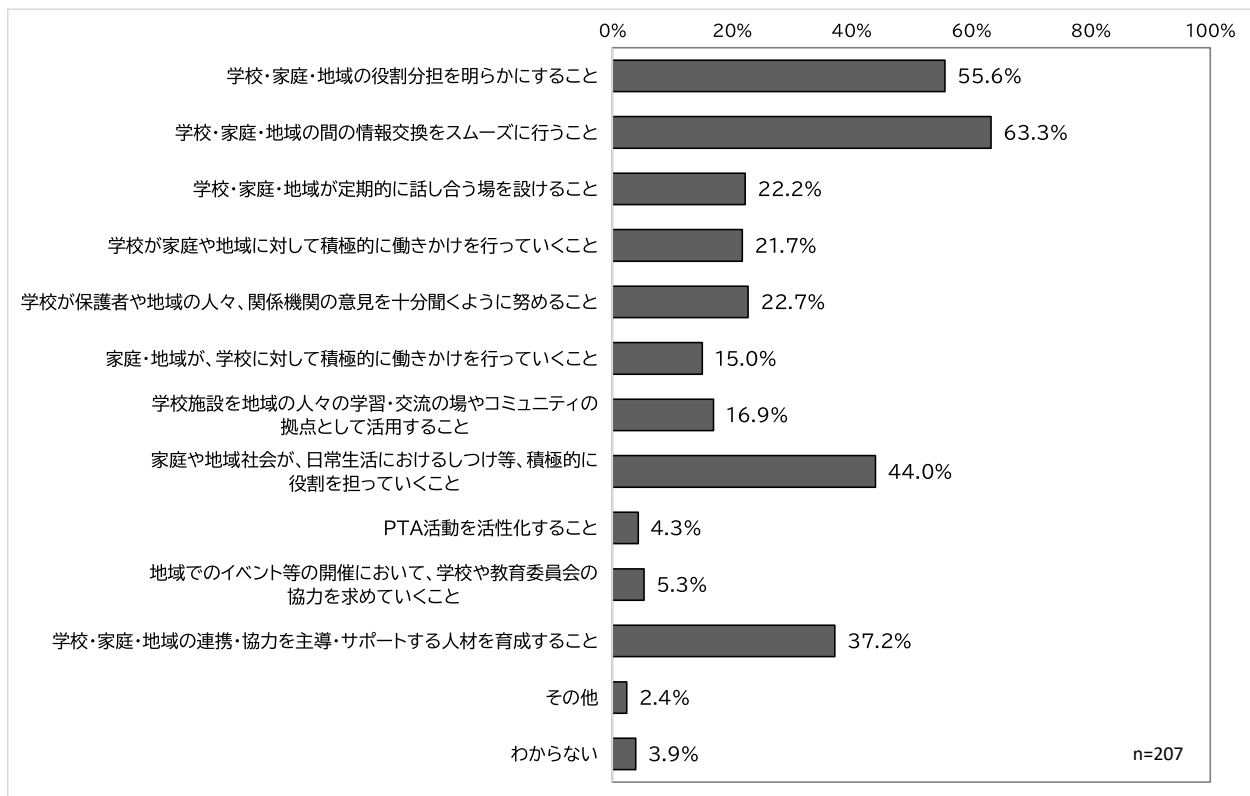
区 分	有効回答数（件）	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳性や規範意識などの低性	子どもたちの健康状態の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	家庭環境などによる教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携	保・幼・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	その他
全 体	207	18.8%	41.1%	17.4%	22.2%	49.3%	21.7%	35.7%	4.3%	5.8%	4.3%	41.5%	13.0%	2.4%
4年以下	34	29.4%	38.2%	38.2%	23.5%	44.1%	20.6%	20.6%	-	11.8%	11.8%	41.2%	2.9%	-
5～9年	44	15.9%	52.3%	11.4%	34.1%	47.7%	18.2%	27.3%	2.3%	4.5%	2.3%	36.4%	20.5%	4.5%
10～19年	82	19.5%	43.9%	9.8%	15.9%	47.6%	22.0%	42.7%	7.3%	4.9%	3.7%	43.9%	12.2%	1.2%
20～29年	36	11.1%	30.6%	22.2%	22.2%	55.6%	25.0%	50.0%	2.8%	2.8%	2.8%	41.7%	13.9%	5.6%
30年以上	11	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	63.6%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%	-	45.5%	18.2%	-

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

問6 学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは何だと思いませんか。
(SA)

○「学校・家庭・地域間の情報交換をスムーズに行うこと」の割合が63.3%と最も高く、次いで「学校・家庭・地域の役割分担を明らかにすること」の割合が55.6%、「家庭や地域社会が、日常生活におけるしつけ等、積極的に役割を担っていくこと」の割合が44.0%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
学校・家庭・地域の役割分担を明らかにすること	115	55.6%
学校・家庭・地域間の情報交換をスムーズに行うこと	131	63.3%
学校・家庭・地域が定期的に話し合う場を設けること	46	22.2%
学校が家庭や地域に対して積極的に働きかけを行っていくこと	45	21.7%
学校が保護者や地域の人々、関係機関の意見を十分聞くように努めること	47	22.7%
家庭・地域が、学校に対して積極的に働きかけを行っていくこと	31	15.0%
学校施設を地域の人々の学習・交流の場やコミュニティの拠点として活用すること	35	16.9%
家庭や地域社会が、日常生活におけるしつけ等、積極的に役割を担っていくこと	91	44.0%
PTA活動を活性化すること	9	4.3%
地域でのイベント等の開催において、学校や教育委員会の協力を求めていること	11	5.3%
学校・家庭・地域の連携・協力を主導・サポートする人材を育成すること	77	37.2%
その他	5	2.4%
わからない	8	3.9%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	こと割学校・家庭・地域に 行うこと	学校の情報・家庭・地域の 交換をスムーズに 行うこと	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定
全 体	207	55.6%	63.3%	22.2%	21.7%	22.7%	15.0%	16.9%	44.0%	4.3%	5.3%	37.2%	2.4%	3.9%
小学校	128	58.6%	64.1%	19.5%	22.7%	19.5%	16.4%	15.6%	46.9%	3.9%	4.7%	38.3%	1.6%	3.9%
中学校	79	50.6%	62.0%	26.6%	20.3%	27.8%	12.7%	19.0%	39.2%	5.1%	6.3%	35.4%	3.8%	3.8%

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	こと割学校・家庭・地域に 行うこと	学校の情報・家庭・地域の 交換をスムーズに 行うこと	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定
全 体	207	55.6%	63.3%	22.2%	21.7%	22.7%	15.0%	16.9%	44.0%	4.3%	5.3%	37.2%	2.4%	3.9%
管理職	15	80.0%	73.3%	26.7%	33.3%	40.0%	20.0%	46.7%	60.0%	6.7%	20.0%	66.7%	-	-
教員(管理職以外)	192	53.6%	62.5%	21.9%	20.8%	21.4%	14.6%	14.6%	42.7%	4.2%	4.2%	34.9%	2.6%	4.2%

【経験年数別】

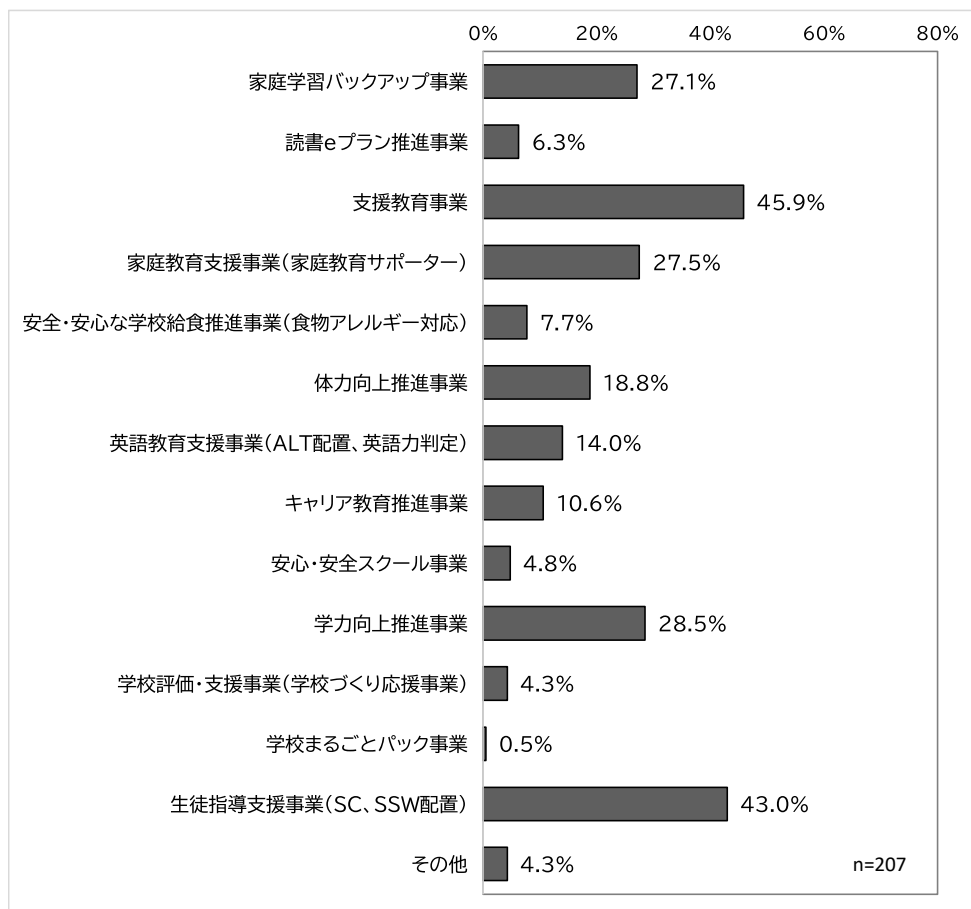
区 分	有効回答数（件）	こと割学校・家庭・地域に 行うこと	学校の情報・家庭・地域の 交換をスムーズに 行うこと	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定	学校の家庭・地域の 設定
全 体	207	55.6%	63.3%	22.2%	21.7%	22.7%	15.0%	16.9%	44.0%	4.3%	5.3%	37.2%	2.4%	3.9%
4年以下	34	58.8%	64.7%	20.6%	29.4%	26.5%	23.5%	20.6%	41.2%	8.8%	8.8%	26.5%	-	-
5～9年	44	65.9%	61.4%	29.5%	18.2%	13.6%	13.6%	13.6%	38.6%	-	-	25.0%	-	4.5%
10～19年	82	46.3%	62.2%	19.5%	24.4%	29.3%	14.6%	15.9%	47.6%	4.9%	6.1%	39.0%	6.1%	4.9%
20～29年	36	66.7%	63.9%	25.0%	13.9%	16.7%	13.9%	22.2%	47.2%	2.8%	8.3%	50.0%	-	2.8%
30年以上	11	36.4%	72.7%	9.1%	18.2%	18.2%	-	9.1%	36.4%	9.1%	-	63.6%	-	9.1%

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

問7 今後、大阪狭山市の学校教育で特に重点をおいて取り組む必要があるものは、どれですか。(主なもの3つ)(MA)

○「支援教育事業」の割合が 45.9%、「生徒指導支援事業(SC、SSW配置)」の割合が 43.0%、「学力向上推進事業」の割合が 28.5%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
家庭学習バックアップ事業	56	27.1%
読書eプラン推進事業	13	6.3%
支援教育事業	95	45.9%
家庭教育支援事業(家庭教育サポーター)	57	27.5%
安全・安心な学校給食推進事業(食物アレルギー対応)	16	7.7%
体力向上推進事業	39	18.8%
英語教育支援事業(ALT配置、英語力判定)	29	14.0%
キャリア教育推進事業	22	10.6%
安心・安全スクール事業	10	4.8%
学力向上推進事業	59	28.5%
学校評価・支援事業(学校づくり応援事業)	9	4.3%
学校まるごとバック事業	1	0.5%
生徒指導支援事業(SC、SSW配置)	89	43.0%
その他	9	4.3%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	家庭学習バックアップ事業	読書eプラン推進事業	支援教育事業	家庭教育支援事業（家庭教育サポーター）	安全・安心な学校給食推進事業（食物アレルギー対応）	体力向上推進事業	英語教育支援事業（ALT配置、英語力判定）	キャリア教育推進事業	安心・安全スクール事業	学力向上推進事業	学校評価・支援事業（学校づくり応援事業）	学校まるごとバック事業	生徒指導・支援事業（SCS W配置）	その他
全 体	207	27.1%	6.3%	45.9%	27.5%	7.7%	18.8%	14.0%	10.6%	4.8%	28.5%	4.3%	0.5%	43.0%	4.3%
小学校	128	23.4%	8.6%	52.3%	32.8%	7.8%	22.7%	14.1%	10.9%	7.0%	27.3%	1.6%	0.8%	38.3%	2.3%
中学校	79	32.9%	2.5%	35.4%	19.0%	7.6%	12.7%	13.9%	10.1%	1.3%	30.4%	8.9%	-	50.6%	7.6%

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	家庭学習バックアップ事業	読書eプラン推進事業	支援教育事業	家庭教育支援事業（家庭教育サポーター）	安全・安心な学校給食推進事業（食物アレルギー対応）	体力向上推進事業	英語教育支援事業（ALT配置、英語力判定）	キャリア教育推進事業	安心・安全スクール事業	学力向上推進事業	学校評価・支援事業（学校づくり応援事業）	学校まるごとバック事業	生徒指導・支援事業（SCS W配置）	その他
全 体	207	27.1%	6.3%	45.9%	27.5%	7.7%	18.8%	14.0%	10.6%	4.8%	28.5%	4.3%	0.5%	43.0%	4.3%
管理職	15	13.3%	-	60.0%	40.0%	6.7%	13.3%	26.7%	6.7%	-	33.3%	-	-	86.7%	-
教員(管理職以外)	192	28.1%	6.8%	44.8%	26.6%	7.8%	19.3%	13.0%	10.9%	5.2%	28.1%	4.7%	0.5%	39.6%	4.7%

【経験年数別】

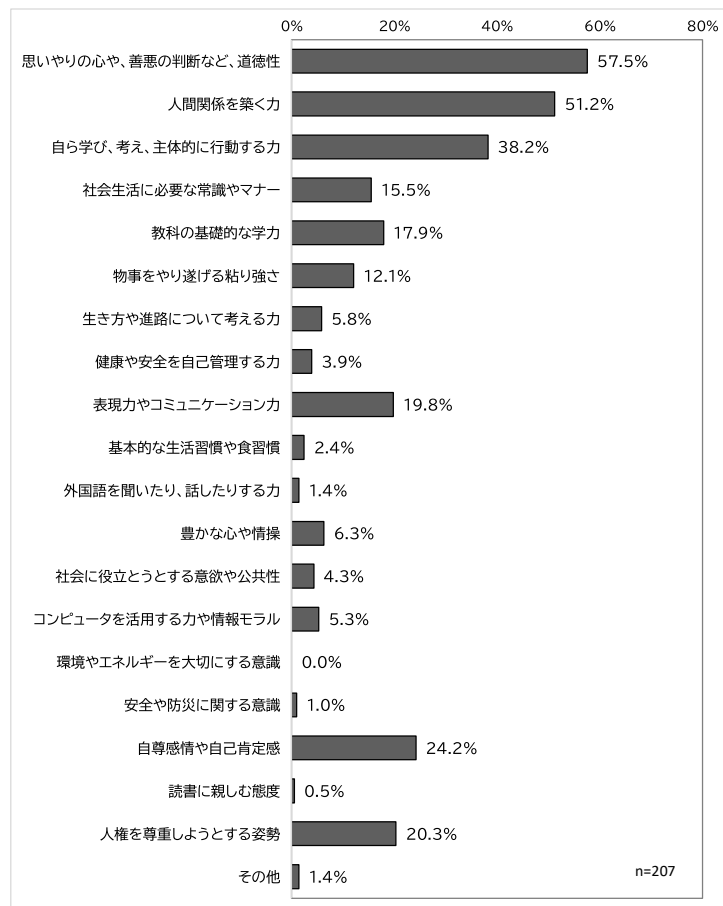
区 分	有効回答数（件）	家庭学習バックアップ事業	読書eプラン推進事業	支援教育事業	家庭教育支援事業（家庭教育サポーター）	安全・安心な学校給食推進事業（食物アレルギー対応）	体力向上推進事業	英語教育支援事業（ALT配置、英語力判定）	キャリア教育推進事業	安心・安全スクール事業	学力向上推進事業	学校評価・支援事業（学校づくり応援事業）	学校まるごとバック事業	生徒指導・支援事業（SCS W配置）	その他
全 体	207	27.1%	6.3%	45.9%	27.5%	7.7%	18.8%	14.0%	10.6%	4.8%	28.5%	4.3%	0.5%	43.0%	4.3%
4年以下	34	29.4%	8.8%	38.2%	29.4%	5.9%	29.4%	17.6%	11.8%	5.9%	23.5%	5.9%	2.9%	41.2%	2.9%
5～9年	44	29.5%	6.8%	36.4%	18.2%	11.4%	27.3%	4.5%	11.4%	4.5%	34.1%	9.1%	-	36.4%	2.3%
10～19年	82	31.7%	7.3%	48.8%	29.3%	4.9%	9.8%	18.3%	14.6%	4.9%	29.3%	3.7%	-	36.6%	6.1%
20～29年	36	19.4%	2.8%	55.6%	36.1%	8.3%	19.4%	13.9%	2.8%	5.6%	22.2%	-	-	55.6%	2.8%
30年以上	11	-	-	54.5%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	-	-	36.4%	-	-	81.8%	9.1%

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

問8 大阪狭山市の学校教育で子どもに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。（主なもの3つ）（MA）

○「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳性」の割合が57.5%と最も高く、次いで「人間関係を築く力」の割合が51.2%、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が38.2%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
思いやりの心や、善悪の判断など、道徳性	119	57.5%
人間関係を築く力	106	51.2%
自ら学び、考え、主体的に行動する力	79	38.2%
社会生活に必要な常識やマナー	32	15.5%
教科の基礎的な学力	37	17.9%
物事をやり遂げる粘り強さ	25	12.1%
生き方や進路について考える力	12	5.8%
健康や安全を自己管理する力	8	3.9%
表現力やコミュニケーション力	41	19.8%
基本的な生活習慣や食習慣	5	2.4%
外国語を聞いたり、話したりする力	3	1.4%
豊かな心や情操	13	6.3%
社会に役立とうとする意欲や公共性	9	4.3%
コンピュータを活用する力や情報モラル	11	5.3%
環境やエネルギーを大切にすること意識	-	-
安全や防災に関する意識	2	1.0%
自尊感情や自己肯定感	50	24.2%
読書に親しむ態度	1	0.5%
人権を尊重しようとする姿勢	42	20.3%
その他	3	1.4%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	思いやりの心や、善悪の判断など、道徳性	人間関係を築く力	自ら学び、考え、主体的に行動する力	社会生活に必要な常識	教科の基礎的な学力	物事をやり遂げる粘り強さ	考える力	健康や安全を自己管理する力	表現力やコミュニケーション力	基本的な生活習慣や食習慣	外国語を聞いたり、話したりする力	豊かな心や情操	意欲や公共性	社会に役立つとする	コンピュータを活用する力や情報モラル	環境やエネルギーを大切にする意識	識	安全や防災に関する意	自尊感情や自己肯定感	読書に親しむ態度	人権を尊重しようとする姿勢	その他
全 体	207	57.5%	51.2%	38.2%	15.5%	17.9%	12.1%	5.8%	3.9%	19.8%	2.4%	1.4%	6.3%	4.3%	5.3%	-	1.0%		24.2%	0.5%	20.3%	1.4%	
小学校	128	60.9%	53.1%	46.1%	13.3%	21.9%	13.3%	3.9%	3.9%	18.0%	2.3%	0.8%	7.8%	3.9%	5.5%	-	0.8%		20.3%	0.8%	18.0%	0.8%	
中学校	79	51.9%	48.1%	25.3%	19.0%	11.4%	10.1%	8.9%	3.8%	22.8%	2.5%	2.5%	3.8%	5.1%	5.1%	-	1.3%	30.4%	-	24.1%	2.5%		

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	思いやりの心や、善悪の判断など、道徳性	人間関係を築く力	自ら学び、考え、主体的に行動する力、主体性	社会生活に必要な常識やマナー	教科の基礎的な学力	物事をやり遂げる粘り強さ	考える力	健康や安全を自己管理する力	表現力やコミュニケーション力	基本的な生活習慣や食習慣	外国語を聞いたり、話したりする力	豊かな心や情操	意欲や公共性	社会に役立つとうとする	コンピュータを活用する力や情報モラル	環境やエネルギーを大切にする意識	安全や防災に関する意識	自尊感情や自己肯定感	読書に親しむ態度	人権を尊重しようとする姿勢	その他
全 体	207	57.5%	51.2%	38.2%	15.5%	17.9%	12.1%	5.8%	3.9%	19.8%	2.4%	1.4%	6.3%	4.3%	5.3%	-	1.0%	24.2%	0.5%	20.3%	1.4%	
管理職	15	33.3%	60.0%	46.7%	26.7%	20.0%	-	6.7%	-	20.0%	-	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%	-	-	13.3%	-	20.0%	-	
教員(管理職以外)	192	59.4%	50.5%	37.5%	14.6%	17.7%	13.0%	5.7%	4.2%	19.8%	2.6%	0.5%	5.2%	3.6%	5.2%	-	1.0%	25.0%	0.5%	20.3%	1.6%	

【経験年数別】

区 分	有効回答数（件）	思いやりの心や、善悪の判断など、道徳性	人間関係を築く力	的に行動する力	自ら学び、考え、主体的に行動する力	社会生活に必要な常識やマナー	教科の基礎的な学力	物事をやり遂げる粘り強さ	考える力	生き方や進路について	健康や安全を自己管理する力	表現力やコミュニケーション力	基本的な生活習慣や食習慣	外国語を聞いたり、話したりする力	豊かな心や情操	意欲や公共性	社会に役立つとうとする	コンピュモクを活用する力や情報モラル	環境やエネルギーを大切にする意識	安全や防災に関する意識	自尊感情や自己肯定感	読書に親しむ態度	人権を尊重しようとする姿勢	その他
全 体	207	57.5%	51.2%	38.2%	15.5%	17.9%	12.1%	5.8%	3.9%	19.8%	2.4%	1.4%	6.3%	4.3%	5.3%	-	1.0%	24.2%	0.5%	20.3%	1.4%			
4年以下	34	52.9%	58.8%	32.4%	23.5%	11.8%	8.8%	14.7%	2.9%	11.8%	2.9%	2.9%	11.8%	2.9%	11.8%	-	-	29.4%	-	17.6%	-			
5～9年	44	54.5%	45.5%	45.5%	15.9%	6.8%	11.4%	-	6.8%	29.5%	-	2.3%	4.5%	4.5%	-	-	-	15.9%	-	20.5%	6.8%			
10～19年	82	64.6%	48.8%	36.6%	13.4%	20.7%	11.0%	6.1%	2.4%	17.1%	3.7%	-	4.9%	3.7%	6.1%	-	2.4%	25.6%	1.2%	22.0%	-			
20～29年	36	55.6%	55.6%	38.9%	11.1%	27.8%	22.2%	5.6%	2.8%	16.7%	2.8%	2.8%	2.8%	5.6%	5.6%	-	-	25.0%	-	16.7%	-			
30年以上	11	36.4%	54.5%	36.4%	18.2%	27.3%	-	-	9.1%	36.4%	-	-	18.2%	9.1%	-	-	-	27.3%	-	27.3%	-			

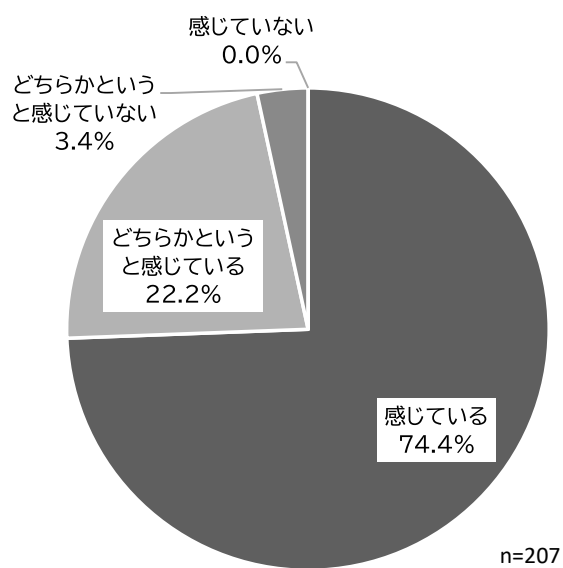
※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

◆ 職場環境について

問9 あなたは、ご自身の職務について忙しいと感じていますか。(SA)

○「感じている」の割合が74.4%、「どちらかというと感じている」の割合が22.2%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
感じている	154	74.4%
どちらかというと感じている	46	22.2%
どちらかというと感じていない	7	3.4%
感じていない	-	-

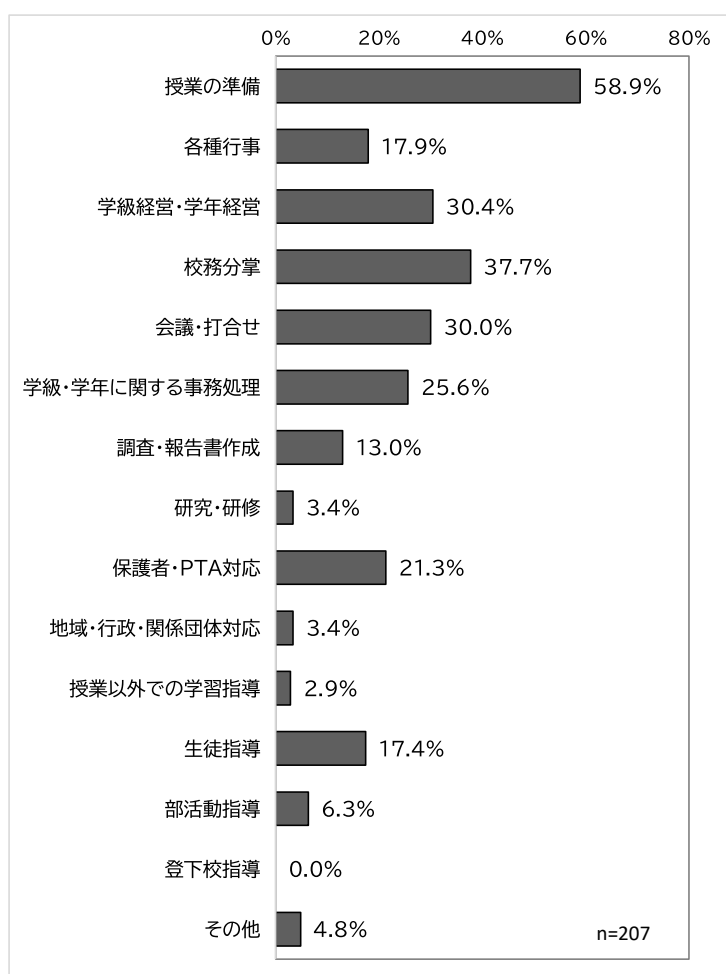


問 10 仕事をするうえで、あなたが、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。（主なもの3つ）（MA）

① 時間をかけている業務

○「授業の準備」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「校務分掌」の割合が 37.7%、「学級経営・学年経営」の割合が 30.4%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
授業の準備	122	58.9%
各種行事	37	17.9%
学級経営・学年経営	63	30.4%
校務分掌	78	37.7%
会議・打合せ	62	30.0%
学級・学年に関する事務処理	53	25.6%
調査・報告書作成	27	13.0%
研究・研修	7	3.4%
保護者・PTA対応	44	21.3%
地域・行政・関係団体対応	7	3.4%
授業以外での学習指導	6	2.9%
生徒指導	36	17.4%
部活動指導	13	6.3%
登下校指導	-	-
その他	10	4.8%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他
全 体	207	58.9%	17.9%	30.4%	37.7%	30.0%	25.6%	13.0%	3.4%	21.3%	3.4%	2.9%	17.4%	6.3%	-	4.8%
小学校	128	54.7%	20.3%	28.9%	43.0%	32.0%	28.1%	13.3%	3.9%	24.2%	3.9%	2.3%	17.2%	0.8%	-	4.7%
中学校	79	65.8%	13.9%	32.9%	29.1%	26.6%	21.5%	12.7%	2.5%	16.5%	2.5%	3.8%	17.7%	15.2%	-	5.1%

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他
全 体	207	58.9%	17.9%	30.4%	37.7%	30.0%	25.6%	13.0%	3.4%	21.3%	3.4%	2.9%	17.4%	6.3%	-	4.8%
管理職	15	-	-	-	6.7%	53.3%	-	66.7%	-	60.0%	40.0%	-	13.3%	-	-	13.3%
教員(管理職以外)	192	63.5%	19.3%	32.8%	40.1%	28.1%	27.6%	8.9%	3.6%	18.2%	0.5%	3.1%	17.7%	6.8%	-	4.2%

【経験年数別】

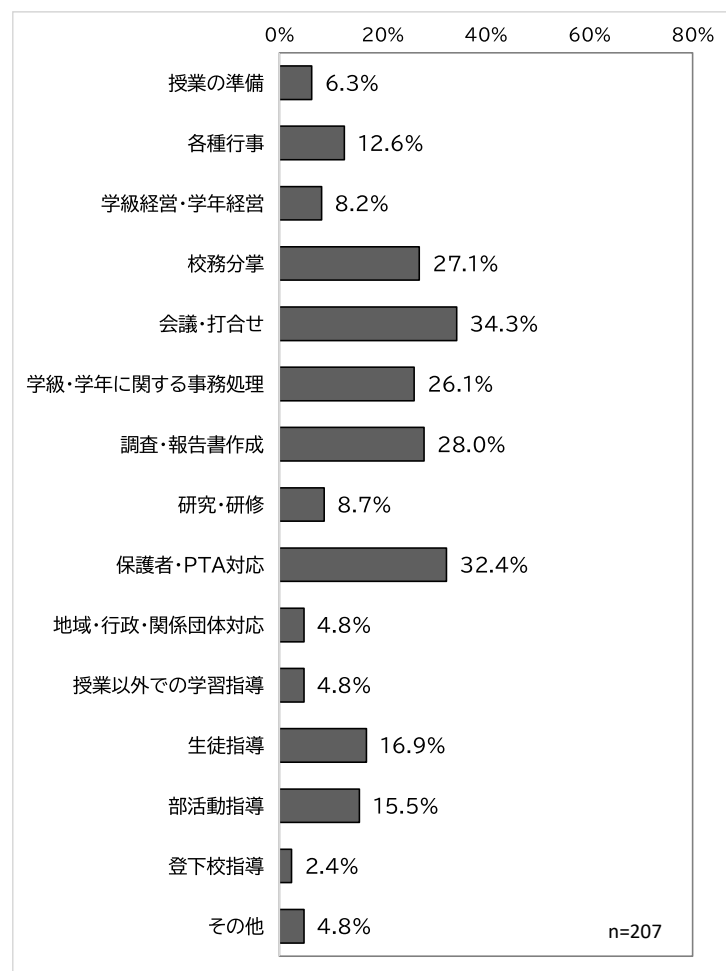
区 分	有効回答数（件）	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他
全 体	207	58.9%	17.9%	30.4%	37.7%	30.0%	25.6%	13.0%	3.4%	21.3%	3.4%	2.9%	17.4%	6.3%	-	4.8%
4年以下	34	61.8%	23.5%	35.3%	23.5%	32.4%	29.4%	5.9%	5.9%	23.5%	5.9%	-	20.6%	14.7%	-	2.9%
5～9年	44	63.6%	15.9%	40.9%	40.9%	25.0%	29.5%	9.1%	2.3%	20.5%	-	2.3%	15.9%	11.4%	-	-
10～19年	82	59.8%	19.5%	26.8%	48.8%	32.9%	25.6%	11.0%	2.4%	19.5%	1.2%	-	15.9%	2.4%	-	2.4%
20～29年	36	50.0%	8.3%	25.0%	30.6%	25.0%	25.0%	30.6%	2.8%	25.0%	11.1%	8.3%	19.4%	-	-	11.1%
30年以上	11	54.5%	27.3%	18.2%	9.1%	36.4%	-	9.1%	9.1%	18.2%	-	18.2%	18.2%	9.1%	-	27.3%

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

② 負担感を感じている業務

○【②負担感を感じている業務】として、「会議・打合せ」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「保護者・PTA対応」の割合が 32.4%、「調査・報告書作成」の割合が 28.0%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
授業の準備	13	6.3%
各種行事	26	12.6%
学級経営・学年経営	17	8.2%
校務分掌	56	27.1%
会議・打合せ	71	34.3%
学級・学年に関する事務処理	54	26.1%
調査・報告書作成	58	28.0%
研究・研修	18	8.7%
保護者・PTA対応	67	32.4%
地域・行政・関係団体対応	10	4.8%
授業以外での学習指導	10	4.8%
生徒指導	35	16.9%
部活動指導	32	15.5%
登下校指導	5	2.4%
その他	10	4.8%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他
全 体	207	6.3%	12.6%	8.2%	27.1%	34.3%	26.1%	28.0%	8.7%	32.4%	4.8%	4.8%	16.9%	15.5%	2.4%	4.8%
小学校	128	6.3%	15.6%	5.5%	33.6%	36.7%	28.9%	35.2%	10.2%	35.2%	3.1%	6.3%	15.6%	-	2.3%	3.1%
中学校	79	6.3%	7.6%	12.7%	16.5%	30.4%	21.5%	16.5%	6.3%	27.8%	7.6%	2.5%	19.0%	40.5%	2.5%	7.6%

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他
全 体	207	6.3%	12.6%	8.2%	27.1%	34.3%	26.1%	28.0%	8.7%	32.4%	4.8%	4.8%	16.9%	15.5%	2.4%	4.8%
管理職	15	-	-	-	-	-	-	53.3%	-	46.7%	33.3%	-	13.3%	-	-	13.3%
教員(管理職以外)	192	6.8%	13.5%	8.9%	29.2%	37.0%	28.1%	26.0%	9.4%	31.3%	2.6%	5.2%	17.2%	16.7%	2.6%	4.2%

【経験年数別】

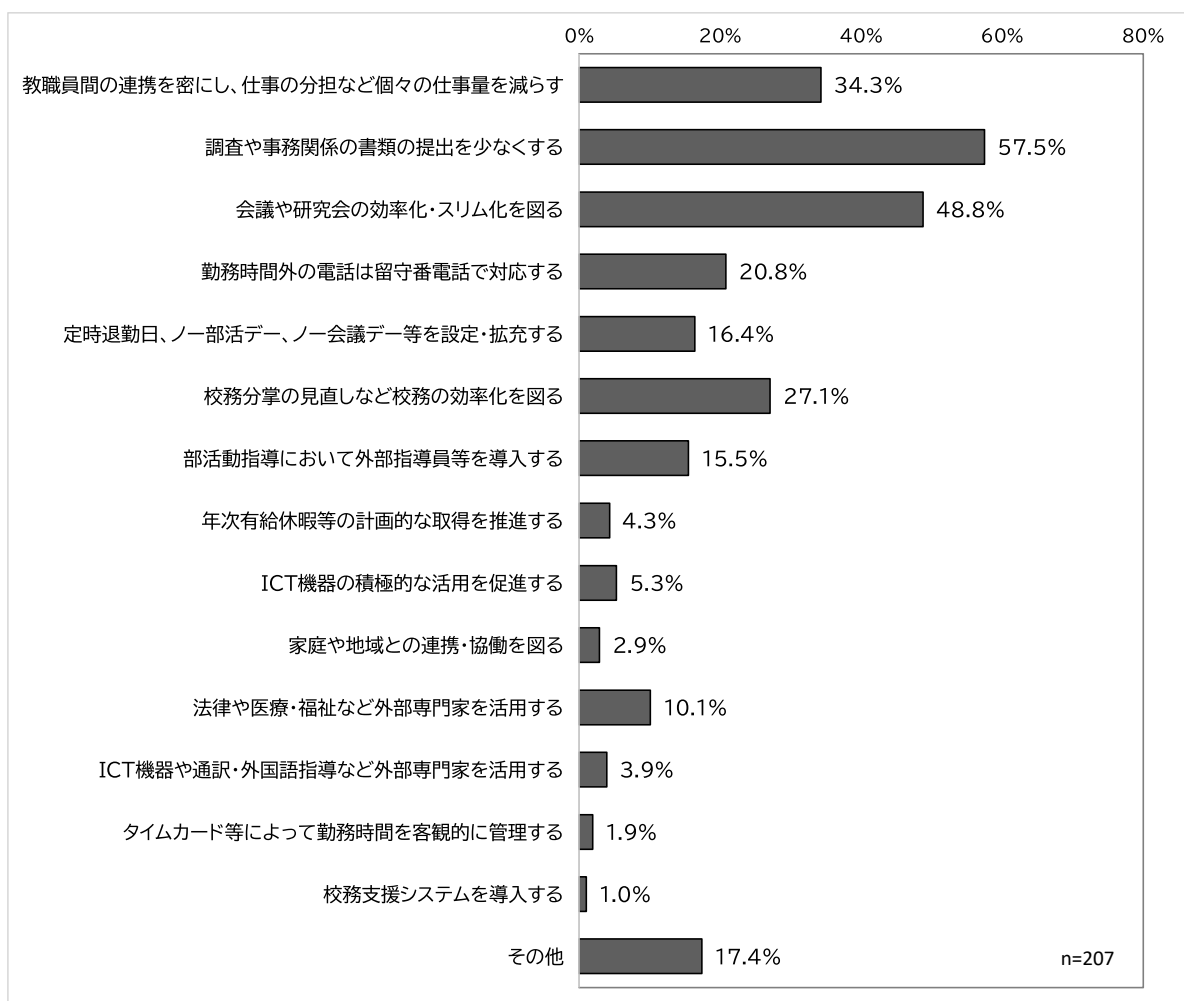
区 分	有効回答数（件）	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他
全 体	207	6.3%	12.6%	8.2%	27.1%	34.3%	26.1%	28.0%	8.7%	32.4%	4.8%	4.8%	16.9%	15.5%	2.4%	4.8%
4年以下	34	5.9%	20.6%	5.9%	29.4%	32.4%	29.4%	17.6%	8.8%	38.2%	2.9%	-	26.5%	26.5%	2.9%	2.9%
5～9年	44	4.5%	9.1%	13.6%	22.7%	38.6%	31.8%	25.0%	9.1%	31.8%	4.5%	4.5%	20.5%	18.2%	-	-
10～19年	82	8.5%	11.0%	8.5%	35.4%	39.0%	25.6%	25.6%	6.1%	29.3%	3.7%	3.7%	14.6%	12.2%	3.7%	4.9%
20～29年	36	2.8%	8.3%	5.6%	16.7%	19.4%	22.2%	50.0%	13.9%	38.9%	11.1%	11.1%	11.1%	8.3%	2.8%	8.3%
30年以上	11	9.1%	27.3%	-	9.1%	36.4%	9.1%	18.2%	9.1%	18.2%	-	9.1%	9.1%	18.2%	-	18.2%

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

問 11 多忙を解消するために必要なことは何だと思いませんか。(〇は3つまで) (MA)

○「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「会議や研究会の効率化・スリム化を図る」の割合が48.8%、「教職員間の連携を密にし、仕事の分担など個々の仕事量を減らす」の割合が 34.3%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
教職員間の連携を密にし、仕事の分担など個々の仕事量を減らす	71	34.3%
調査や事務関係の書類の提出を少なくする	119	57.5%
会議や研究会の効率化・スリム化を図る	101	48.8%
勤務時間外の電話は留守番電話で対応する	43	20.8%
定時退勤日、ノー部活デー、ノー会議デー等を設定・拡充する	34	16.4%
校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る	56	27.1%
部活動指導において外部指導員等を導入する	32	15.5%
年次有給休暇等の計画的な取得を推進する	9	4.3%
ICT機器の積極的な活用を促進する	11	5.3%
家庭や地域との連携・協働を図る	6	2.9%
法律や医療・福祉など外部専門家を活用する	21	10.1%
ICT機器や通訳・外国語指導など外部専門家を活用する	8	3.9%
タイムカード等によって勤務時間を客観的に管理する	4	1.9%
校務支援システムを導入する	2	1.0%
その他	36	17.4%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	個々の仕事の量を減らす	教職員の連携を密にし、仕事の分担など	調査や事務関係の書類の提出を少なくする	会議や研究会の効率化・スリム化を図る	勤務時間外の電話は留守番電話で対応する	定時退勤日、ノー部活を設定・拡充する	校務の効率化を図る	部活動指導等における外部指導員の導入	年次有給休暇等の計画的な取得を推進する	ＩＣＴ機器の積極的な活用を促進する	家庭や地域との連携・協働を図る	法律や医療・福祉など外部専門家を活用する	国語指導など外部専門家を活用する	ＩＣＴ機器や通訳・専門管理する	タイムカード等による客観的な管理	校務支援システムを導入する	その他
全 体	207	34.3%	57.5%	48.8%	20.8%	16.4%	27.1%	15.5%	4.3%	5.3%	2.9%	10.1%	3.9%	1.9%	1.0%	17.4%		
小学校	128	37.5%	64.1%	54.7%	24.2%	15.6%	29.7%	1.6%	4.7%	4.7%	1.6%	12.5%	4.7%	3.1%	1.6%	14.1%		
中学校	79	29.1%	46.8%	39.2%	15.2%	17.7%	22.8%	38.0%	3.8%	6.3%	5.1%	6.3%	2.5%	-	-	22.8%		

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	個々の仕事の量を減らす	教職員の連携を密にし、仕事の分量を減らす	調査や事務関係の書類の提出を少なくする	会議や研究会の効率化・スリム化を図る	勤務時間外の電話は留守番電話で対応する	定時退勤日、ノー部活を設定・拡充する	校務の効率化を図る	部活動指導等において外部指導員等を導入する	年次有給休暇等の計画的な取得を推進する	ＩＣＴ機器の積極的な活用を促進する	家庭や地域との連携・協働を図る	法律や医療・福祉など外部専門家を活用する	国語指導など外部専門家を活用する	ＩＣＴ機器や通訳・外国語指導など外部専門家を活用する	タイムカード等による客観的な管理する	校務支援システムを導入する	その他
全 体	207	34.3%	57.5%	48.8%	20.8%	16.4%	27.1%	15.5%	4.3%	5.3%	2.9%	10.1%	3.9%	1.9%	1.0%	17.4%		
管理職	15	53.3%	46.7%	26.7%	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%	13.3%	20.0%	-	6.7%	6.7%	-	6.7%	13.3%		
教員(管理職以外)	192	32.8%	58.3%	50.5%	21.4%	16.1%	28.1%	16.1%	3.6%	4.2%	3.1%	10.4%	3.6%	2.1%	0.5%	17.7%		

【経験年数別】

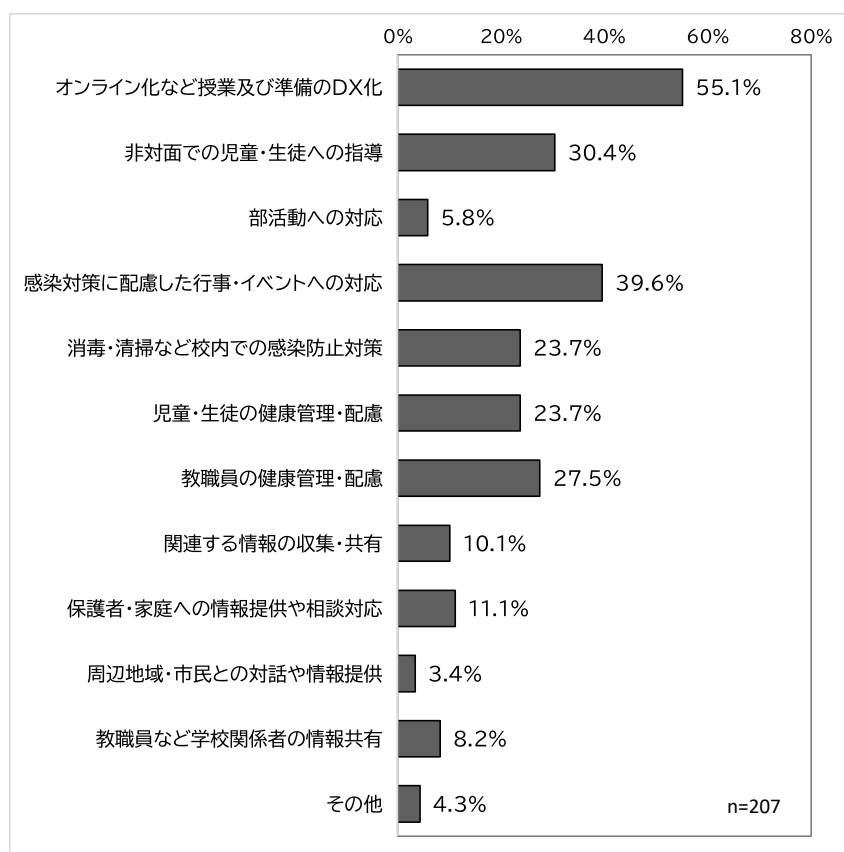
区 分	有効回答数（件）	個々の仕事の量を減らす	教職員の連携を密にし、仕事の分担など	調査や事務関係の書類の提出を少なくする	会議や研究会の効率化・スリム化を図る	勤務時間外の電話は留守番電話で対応する	定時退勤日、ノー部活を設定・拡充する	校務の効率化を図る	部活動指導等における外部指導員の導入	年次有給休暇等の計画的な取得を推進する	ＩＣＴ機器の積極的な活用を促進する	家庭や地域との連携・協働を図る	法律や医療・福祉など外部専門家を活用する	国語指導など外部専門家を活用する	ＩＣＴ機器や通訳・管理する	タイムカード等による客観的な管理	校務支援システムを導入する	その他
全 体	207	34.3%	57.5%	48.8%	20.8%	16.4%	27.1%	15.5%	4.3%	5.3%	2.9%	10.1%	3.9%	1.9%	1.0%	17.4%		
4年以下	34	26.5%	47.1%	50.0%	32.4%	26.5%	17.6%	35.3%	5.9%	5.9%	14.7%	8.8%	2.9%	2.9%	-	5.9%	-	5.9%
5～9年	44	47.7%	56.8%	50.0%	15.9%	11.4%	25.0%	15.9%	2.3%	-	-	15.9%	2.3%	2.3%	2.3%	15.9%	2.3%	15.9%
10～19年	82	34.1%	56.1%	52.4%	24.4%	13.4%	34.1%	9.8%	2.4%	7.3%	1.2%	6.1%	2.4%	2.4%	-	18.3%	-	18.3%
20～29年	36	27.8%	69.4%	38.9%	8.3%	22.2%	25.0%	11.1%	8.3%	2.8%	-	11.1%	5.6%	-	2.8%	30.6%	-	30.6%
30年以上	11	27.3%	63.6%	45.5%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	-	18.2%	18.2%	-	-	9.1%	-	9.1%

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

問 12 コロナ禍で特に困ったこと、今後、感染症や緊急時における備えの強化が必要なことは何だと思いますか。（主なもの3つ）（MA）

○「オンライン化など授業及び準備のDX化」の割合が55.1%、「いる」の割合が18.4%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
オンライン化など授業及び準備のDX化	114	55.1%
非対面での児童・生徒への指導	63	30.4%
部活動への対応	12	5.8%
感染対策に配慮した行事・イベントへの対応	82	39.6%
消毒・清掃など校内での感染防止対策	49	23.7%
児童・生徒の健康管理・配慮	49	23.7%
教職員の健康管理・配慮	57	27.5%
関連する情報の収集・共有	21	10.1%
保護者・家庭への情報提供や相談対応	23	11.1%
周辺地域・市民との対話や情報提供	7	3.4%
教職員など学校関係者の情報共有	17	8.2%
その他	9	4.3%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	オンライン化など授業準備のDX化	非対面での児童・生徒への指導	部活動への対応	感染対策イベントへの対応	消毒・清掃など校内での感染防止対策	児童・生徒の健康管理・配慮	教職員の健康管理・配慮	関連する情報の収集・共有	保護者・家庭への情報提供や相談対応	周辺地域・市民との対話や情報提供	教職員など学校関係者の情報共有	その他
全 体	207	55.1%	30.4%	5.8%	39.6%	23.7%	23.7%	27.5%	10.1%	11.1%	3.4%	8.2%	4.3%
小学校	128	51.6%	30.5%	1.6%	42.2%	22.7%	28.9%	28.9%	10.2%	15.6%	3.1%	7.0%	4.7%
中学校	79	60.8%	30.4%	12.7%	35.4%	25.3%	15.2%	25.3%	10.1%	3.8%	3.8%	10.1%	3.8%

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	オンライン化など授業準備のDX化	非対面での児童・生徒への指導	部活動への対応	感染対策イベントへの対応	消毒・清掃など校内での感染防止対策	児童・生徒の健康管理・配慮	教職員の健康管理・配慮	関連する情報の収集・共有	保護者・家庭への情報提供や相談対応	周辺地域・市民との対話や情報提供	教職員など学校関係者の情報共有	その他
全 体	207	55.1%	30.4%	5.8%	39.6%	23.7%	23.7%	27.5%	10.1%	11.1%	3.4%	8.2%	4.3%
管理職	15	60.0%	33.3%	6.7%	40.0%	33.3%	20.0%	26.7%	20.0%	13.3%	13.3%	-	6.7%
教員(管理職以外)	192	54.7%	30.2%	5.7%	39.6%	22.9%	24.0%	27.6%	9.4%	10.9%	2.6%	8.9%	4.2%

【経験年数別】

区 分	有効回答数（件）	オンライン化など授業準備のDX化	非対面での児童・生徒への指導	部活動への対応	感染対策イベントへの対応	消毒・清掃など校内での感染防止対策	児童・生徒の健康管理・配慮	教職員の健康管理・配慮	関連する情報の収集・共有	保護者・家庭への情報提供や相談対応	周辺地域・市民との対話や情報提供	教職員など学校関係者の情報共有	その他
全 体	207	55.1%	30.4%	5.8%	39.6%	23.7%	23.7%	27.5%	10.1%	11.1%	3.4%	8.2%	4.3%
4年以下	34	55.9%	44.1%	5.9%	52.9%	32.4%	17.6%	11.8%	2.9%	11.8%	2.9%	2.9%	2.9%
5～9年	44	43.2%	36.4%	9.1%	34.1%	25.0%	34.1%	27.3%	11.4%	11.4%	2.3%	6.8%	9.1%
10～19年	82	61.0%	26.8%	4.9%	39.0%	23.2%	22.0%	24.4%	12.2%	12.2%	3.7%	11.0%	1.2%
20～29年	36	55.6%	27.8%	-	36.1%	16.7%	25.0%	41.7%	11.1%	8.3%	2.8%	8.3%	8.3%
30年以上	11	54.5%	-	18.2%	36.4%	18.2%	9.1%	54.5%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	-

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

問 13 問 12 に関して、具体的に困った出来事、「今後はこうした方がよい」といったご提案があれば、自由にお書きください。(FA)

回収した 207 件中、32 件（15.5%）で何らかの記載がありました。

具体的な意見については、同様の意見のとりまとめ、長文の主旨の抜粋など、整理をしている場合があります。

「教育体制・教育内容」に多くの意見。子育てや生涯学習にも多数の提案・要請

- ・大きな分類でみると、最も多くの意見・提案があったのが「(1) 教育体制・教育内容」に関してで 23 件、以下「(2) 働き方改革・働く環境」(15 件)、「教育施設・設備」(10 件)となっています。

分類	件数
(1)教育DX	15
(2)学校の役割・ルールの確立	6
(3)家庭との連携・意思疎通	4
(4)その他	7

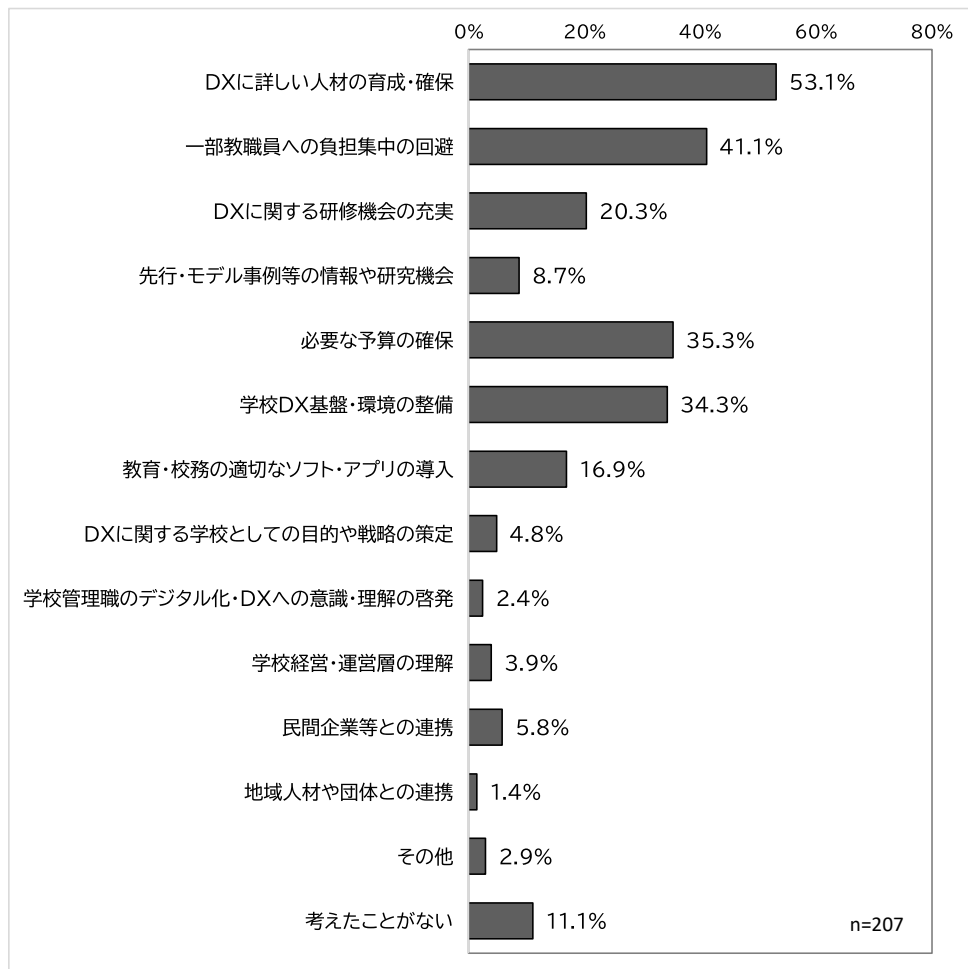
【テーマごとの主な意見例】

(1) 教育DX (15 件)	
意見例	・通信環境の改善・強化 (7 件) ・端末の軽量化・有効活用 (2 件) ・多様な手段の準備 ・低学年におけるオンラインの工夫 ・管理職以外へのビジネスチャットの導入 ・日常的にオンラインで通常授業を行う体制・下地づくり ・ICT 専門家等の確保、研修の強化
(2) 学校の役割・ルールの確立 (6 件)	
意見例	・教職員欠勤時の学級閉鎖・人員補充の実施 (2 件) ・(感染症対応等に関する学校間、学校と家庭との) 適切な情報共有 (2 件) ・本当にやるべきことの明確化(検討・熟考) ・学校間の姿勢・格差の公平化(イベント等)
(3) 家庭との連携・意思疎通 (4 件)	
意見例	・家庭・子どもとのコミュニケーション手段の確保 (3 件) ・家庭教育との連携
(4) その他 (7 件)	
意見例	・消毒対応 (2 件) ・対策費活用の事前・事後ケアによる効果的な予算活用 ・給食の改善 ・子どもの貴重な学習・経験機会としての活用 ・コロナ前後における各種ノウハウ等の継承 ・その他

問 14 教育の DX 化において、今後特にどのような取組が必要だとお考えですか。（主なもの 3 つ）（MA）

○「DXに詳しい人材の育成・確保」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「一部教職員への負担集中の回避」の割合が 41.1%、「必要な予算の確保」の割合が 35.3%となっています。

調査数(n=207)	回答数	割合
DXに詳しい人材の育成・確保	110	53.1%
一部教職員への負担集中の回避	85	41.1%
DXに関する研修機会の充実	42	20.3%
先行・モデル事例等の情報や研究機会	18	8.7%
必要な予算の確保	73	35.3%
学校DX基盤・環境の整備	71	34.3%
教育・校務の適切なソフト・アプリの導入	35	16.9%
DXに関する学校としての目的や戦略の策定	10	4.8%
学校管理職のデジタル化・DXへの意識・理解の啓発	5	2.4%
学校経営・運営層の理解	8	3.9%
民間企業等との連携	12	5.8%
地域人材や団体との連携	3	1.4%
その他	6	2.9%
考えたことがない	23	11.1%



【校種別】

区 分	有効回答数（件）	成・D・Xに詳しい人材の育成・確保	中・一部教職員への負担集	のD・Xに関する研修機会	情報・先行・モデル事例等の研究機会	必要な予算の確保	整備・学校D・X基盤・環境の	フ・教育・校務の適切な導入	てD・Xに関する学校の戦略の策定	解・化・D・X管理職の意識・デジタル	解・学校経営・運営層の理	民間企業等との連携	携・地域人材や団体との連	その他	考えたことがない
全 体	207	53.1%	41.1%	20.3%	8.7%	35.3%	34.3%	16.9%	4.8%	2.4%	3.9%	5.8%	1.4%	2.9%	11.1%
小学校	128	56.3%	39.8%	19.5%	7.8%	38.3%	38.3%	15.6%	4.7%	1.6%	3.1%	4.7%	1.6%	2.3%	10.2%
中学校	79	48.1%	43.0%	21.5%	10.1%	30.4%	27.8%	19.0%	5.1%	3.8%	5.1%	7.6%	1.3%	3.8%	12.7%

【職種別】

区 分	有効回答数（件）	成・D・Xに詳しい人材の育成・確保	中・一部教職員への負担集	のD・Xに関する研修機会	情報・先行・モデル事例等の研究機会	必要な予算の確保	整備・学校D・X基盤・環境の	フ・教育・校務の適切な導入	てD・Xに関する学校の戦略の策定	解・化・D・X管理職の意識・デジタル	解・学校経営・運営層の理	民間企業等との連携	携・地域人材や団体との連	その他	考えたことがない
全 体	207	53.1%	41.1%	20.3%	8.7%	35.3%	34.3%	16.9%	4.8%	2.4%	3.9%	5.8%	1.4%	2.9%	11.1%
管理職	15	66.7%	33.3%	33.3%	6.7%	40.0%	60.0%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	-	-	-
教員(管理職以外)	192	52.1%	41.7%	19.3%	8.9%	34.9%	32.3%	17.2%	4.7%	2.1%	3.6%	5.7%	1.6%	3.1%	12.0%

【経験年数別】

区 分	有効回答数（件）	成・D・Xに詳しい人材の育成・確保	中・一部教職員への負担集	のD・Xに関する研修機会	情報・先行・モデル事例等の研究機会	必要な予算の確保	整備・学校D・X基盤・環境の	フ・教育・校務の適切な導入	てD・Xに関する学校の戦略の策定	解・化・D・X管理職の意識・デジタル	解・学校経営・運営層の理	民間企業等との連携	携・地域人材や団体との連	その他	考えたことがない
全 体	207	53.1%	41.1%	20.3%	8.7%	35.3%	34.3%	16.9%	4.8%	2.4%	3.9%	5.8%	1.4%	2.9%	11.1%
4年以下	34	61.8%	47.1%	11.8%	5.9%	35.3%	35.3%	5.9%	8.8%	5.9%	2.9%	-	2.9%	-	14.7%
5～9年	44	40.9%	40.9%	18.2%	11.4%	29.5%	27.3%	20.5%	4.5%	-	6.8%	9.1%	2.3%	-	22.7%
10～19年	82	48.8%	45.1%	19.5%	9.8%	40.2%	32.9%	18.3%	6.1%	2.4%	2.4%	3.7%	1.2%	3.7%	6.1%
20～29年	36	63.9%	30.6%	30.6%	8.3%	30.6%	41.7%	25.0%	-	2.8%	5.6%	5.6%	-	8.3%	8.3%
30年以上	11	72.7%	27.3%	27.3%	-	36.4%	45.5%	-	-	-	-	27.3%	-	-	-

※最も色が濃いものから第一位、第二位、第三位の項目に網かけをしている。

大阪狭山市の教育に関して、望まれることや具体的な提案・感想がございましたら、ご記入ください。(FA)

回収した 207 件中、42 件 (20.3%) で何らかの記載がありました(「特になし」などの記載を除く)。なお、1 件の回答で複数の意見・提案をしている場合があります、その場合、それぞれの分野に計上しているため、件数の合計が回答数の 42 件を超えています。

具体的な意見については、同様の意見のとりまとめ、長文の主旨の抜粋など、整理をしている場合があります。

「教育体制・教育内容」に多くの意見。働く環境・働き方も課題に

- 大きな分類でみると、最も多くの意見・提案があったのが「(1) 教育体制・教育内容」に関してで 23 件、以下「(2) 働き方改革・働く環境」(15 件)、「(3) 教育施設・設備」(10 件)となっています。

分類	件数
(1)教育体制・教育内容	23
(2)働き方改革・働く環境	15
(3)教育施設・設備	10

【分類ごとの主な意見例】

(1) 教育体制・教育内容 (23 件)	
①人材確保・育成・適正配置について (9 件)	
意見例	・現場の人手の確保 ・教員の休みに対する適切な人材補充 ・学校業務に関わる人材、支援員の確保 ・評価・評定に関する研修の実施
②現場との関係について (5 件)	
意見例	・現場と事務・管理部門の連携強化 ・年間事業スケジュールの早期確定、通知 (年度途中のイレギュラー事業の抑制)
③学力向上について (2 件)	
意見例	・家庭の意識・経済力等を踏まえた子どもの学力分析 ・情報機器では代替できない人間力の育成
④専門家の活用について (2 件)	
意見例	・不登校児童の増加への専門家の活用 ・SC や SSW 等の来校回数増加など、専門家からの助言や相談支援の充実
⑤不登校対策について (2 件)	
意見例	・不登校生徒への支援体制の整備
⑥その他 (3 件)	
意見例	・外国にルーツのある子どもの増加に対応した取組の強化 ・各学校独自の創造的な取組の促進 ・学区編成の見直し

(2) 働き方改革・働く環境 (15件)	
①全体の業務量等について (5件)	
意見例	・教育委員会事務局の働き方改革 (仕事の効率化・軽減に向けた大胆な制度改革) ・専任教員の増加など業務負担 ・きちんと休憩・休暇がとれる工夫
②部活動について (5件)	
意見例	・部活動の地域移行の推進 (運動・文化部ともに) ・部活動の負担軽減
③時間割について (2件)	
意見例	・創造的な取組や子どもに向かい合える余力の創出 ・ (専科) 教育における、ゆとりある時間割の設定 (学校間移動への配慮等)
④働き方改革について (2件)	
意見例	・さらなる働き方改革で職場・労働環境の改善 ・ブラックイメージの払拭による人材の確保
⑤保護者への対応について (1件)	
意見例	・現場負担の軽減に向けた保護者対応の充実

(3) 教育施設・設備 (10件)	
①D X化について (6件)	
意見例	・子どもの使う端末のネット接続の安定化 (Wi-Fi 環境の改善) ・デジタル採点システムの改善
②施設・設備の老朽化について (4件)	
意見例	・老朽化が進む学校校舎の改善、建て替え ・熱中症対策として体育館空調の早期設置 ・雨漏りなど施設の老朽化への早急な対応